

事業別行政サービス成果表

全事業 共通
資料3

1. 事業名等

事業名			決算書頁	
視点・政策				
施策				
所管部・課		作成者		

2. 事業の目的

--

3. コスト情報

(単位:千円)

事業コスト		30年度	29年度	比較	財源		30年度	29年度	比較
内 訳	総事業費				一般財源				
	事業費				国県支出金				
	職員人件費				地方債				
	減価償却費				特定財源(都市計画税)				
	職員数(人)				特定財源(その他)				
参考	再任用職員数(人)								

4. 事業目的達成のための手段と成果

<細事業1>			細事業事業費(千円)	
(1) 参画と協働の主な手法(実績)				
(2) 30年度の実績と成果				
主 な 取 組				
<細事業2>			細事業事業費(千円)	
(1) 参画と協働の主な手法(実績)				
(2) 30年度の実績と成果				
主 な 取 組				

<細事業3>		細事業事業費（千円）	
(1) 参画と協働の主な手法（実績）			
(2) 30年度の取組と成果			
主 な 取 組			
<細事業4>		細事業事業費（千円）	
(1) 参画と協働の主な手法（実績）			
(2) 30年度の取組と成果			
主 な 取 組			

5. 担当部長による自己評価及び今後の方向性等

事業目的に対する自己評価		左記の具体的説明							
<table border="1"> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性が向上した。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。</td> <td></td> </tr> </table>		市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。		市民の利便性や事業の効率性が向上した。		市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。			
市民の利便性や事業の効率性が大きく向上した。									
市民の利便性や事業の効率性が向上した。									
市民の利便性や事業の効率性は前年度の水準に留まった。									
課題と改善について		令和元年度以降における具体的な方向性について							
<small>※「課題と改善」は、「妥当性」、「効率性」、「有効性」及び「参画と協働」の視点を全て考慮したうえで、事業の質や効率性を高める方向で記述しています。</small>									